

医療相談室

井上信正

常勤6名、非常勤1名、エイズ予防財団リサーチレジデント2名で構成。社会福祉士か精神保健福祉士を有する。社団法人日本医療社会事業協会・NPO 法人大阪医療ソーシャルワーカー協会に参加し、基幹研修・初任者研修など多くの研修に参加している。がん・救命センター・HIV感染症・脳卒中・児童虐待を専任としており、それぞれの分野の研修・学会・会議に参加している。

2010年度は1751件の相談に対応した。他に問い合わせや情報提供には随時対応している。

【2010年度研究発表業績】

A-5

小西加保留：長期療養患者のソーシャルワークに関する研究。厚生労働省科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV感染症及びその合併症の課題を克服する研究」平成22年総括・分担研究報告書、P.178-179、2010年3月

A-6

岡本学、白阪琢磨：HIV感染症治療とMSW「病院」70(2)：P.137-140、2011年2月

B-3

嶋あずさ、定光大海、太田裕子：救急医療におけるMSWの役割。第13回日本臨床救急医学会、千葉、2010年5月

B-4

平島園子、小西加保留、岡本学、白阪琢磨：訪問看護導入時における制度利用について。第24回日本エイズ予防学会学術集会・総会、東京、2010年11月

渡辺真弓、岡本学、福長暖奈、高居千幸、黒田美和、上田純子、里見絵里子 大阪医療センターにおける医療ソーシャルワーカーの相談支援。第15回日本緩和医療学会学術大会、東京、2010年6月

B-8

岡本学：HIV陽性者の長期療養支援について。平成22年度第1回中国・四国ブロックエイズ治療拠点病院等連絡協議会、広島、2010年7月

B-9

岡本学：HIV第二弾就労編。NHK教育ハートをつなごう、2010年12月

岡本学：HIV第二弾パートナーシップ編。NHK教育ハートをつなごう、2010年12月